

昭和八年十月二十五日

第四十四回米穀委員會報告事項

目次

- 一 粟ノ輸入税増加ノ件
- 二 米穀生産費調査ニ關スル件
- 三 米穀移動調査ニ關スル件
- 四 米穀事務所ノ設置
- 五 米穀應急資金ノ件
- 六 米穀法第三條ノ規定ニ依ル米穀ノ輸入許可ニ關スル件
- 七 米穀統制法關係法規
 - (一) 米穀統制法施行期日ノ件
 - (二) 米穀統制法施行令

(三) 米穀其ノ他輸入税増加ノ件

(四) 米穀統制法ノ一部ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件

(五) 米穀統制法施行規則

(六) 米穀統制委員會官制

(七) 米穀委員會官制廢止ノ件

八 米穀統制法施行ニ伴フ官制改正ノ件

(一) 農林省官制中改正ノ件

(二) 臨時農林省ニ米穀部ヲ設置スルノ件中改正ノ件

九 内地米ノ買換ノ件

五十萬石ノ買換

三十五萬石ノ買換

十 政府所有朝鮮米ノ賣却

十一 米穀輸入許可數量

十二 米穀輸出許可數量

十三 内地ニ於ケル輸移出入高

十四 朝鮮、臺灣ニ於ケル外米及朝鮮ニ於ケル雜穀ノ輸入高

十五 米穀現在高調査

十六 自昭和七年十一月一日
至昭和八年八月末日 内地ニ於ケル米穀需給實績

十七 政府所有内地米現在高

十八 政府所有朝鮮米現在高

十九 米 價

(1) 實 數

(2) 足 取 表

二十 外國米產地相場

(1) 實 數

(2) 足 取 表

二十一 稻ノ作柄

(1) 内 地 米

(2) 朝 鮮 米

(3) 臺 灣 米

二十二 麥ノ收穫高

(1) 第 一 期 作

(2) 第 二 期 作

(3) 外 國 米

一 粟ノ輸入税増加ノ件

前同本委員会ニ諮問シタル「粟ノ輸入税増加ノ件」ニ付テハ其ノ後手續
ヲ了シ、五月十二日勅令第九十八號ヲ以テ公布セラレ、昭和九年三月三
十一日迄毎百斤一圓ニ増加シ（從來毎百斤六十七錢但シ朝鮮ハ五十錢）
五月十八日ヨリ施行セラレタリ

二

米穀生産費調査ニ關スル件

米穀生産費調査ニ關シテ本年ヨリ租税公課中ニ戸數割ヲ加フル外、部落協議費又ハ之ニ準ズルモノ（水利費又ハ病蟲害驅除豫防費タルモノ）、及米穀検査手数料ヨリ新ニ調査費目中ニ加フルコトトシ昭和八年産米穀ノ生産費調査ヨリ之ヲ適用セリ

右改正ノ實施ニ當リテハ改正ノ趣旨ヲ徹底セシムル爲去ル六月十六日各府縣ノ米穀生産費調査專任職員ヲ招集セリ

本年米穀生産費調査ハ一〇〇〇戸ノ農家ニ付調査ヲ開始シタルガ調査ハ順調ニ進行シツツアリ

尙現在迄ニ報告ヲ了セルモノハ種粃代、苗代ニ於ケル一切ノ勞賃及畜力

費、本田ニ於ケル移植前迄ノ勞賃及畜力費、移植ノ勞賃及畜力費、作付
反別及所有反別ノ五種目ナリ

三

米穀移動調査ニ關スル件

米穀移動調査ニ關シテハ第六十四議會ニ於テ經費豫算ノ承認ヲ得タルヲ
以テ本年八月一日ヨリ調査ニ着手シ道府縣ニ專任職員ヲ任命スルノ他道
府縣ノ區域ニヨリ米穀移動調査員ヲ農林大臣ニ於テ囑託シ其ノ完璧ヲ期
シツツアリ

四

米穀事務所ノ設置

(一) 昭和八年八月二十二日 臺北米穀事務所（臺北市北門町八）ヲ設

置シ差當リ臺灣ニ於ケル米穀事情ヲ調査セシメツツアリ

(二) 昭和八年十月一日 米穀統制法實施ノ爲左記ノ通米穀事務所ヲ設

置スルト共ニ米穀事務所ノ管轄ヲ左ノ如ク改定セリ

記

小樽米穀事務所

小樽市南濱町五ノ三

仙臺

仙臺市原町南目三七

金澤

金澤市田丸町四〇ノ一六

神戸

神戸市兵庫區川崎町九三

岡山
熊本

岡山市弓之町八二ノ一
熊本市花畑町八〇ノ一

管轄區域

東京米穀事務所ハ 東京府、神奈川縣、千葉縣、山梨縣、埼玉

縣、茨城縣、栃木縣、群馬縣、長野縣、

大阪 大阪府、京都府、奈良縣、和歌山縣、滋賀縣

酒田 秋田縣、山形縣

門司 福岡縣、佐賀縣、長崎縣、大分縣

新潟 新潟縣

名古屋 靜岡縣、愛知縣、三重縣、岐阜縣

小樽

北海道

仙臺

青森縣、岩手縣、宮城縣、福島縣

金澤

富山縣、石川縣、福井縣

靜戶

兵庫縣、徳島縣、香川縣、愛媛縣、高知縣

岡山

鳥取縣、島根縣、岡山縣、廣島縣、山口縣

熊本

熊本縣、宮崎縣、鹿兒島縣

京域

朝鮮

臺北

臺灣

五

米穀應急資金ノ件

昭和八年産米ニ付テハ出廻期ニ於ケル農家ノ投賣ヲ防止スル爲規又ハ玄
米ヲ貯藏スル米作者ニ對シ三千萬圓以内ノ應急資金ヲ大藏省預金部資金
中ヨリ融通スルコトトシ十月十八日ヲ以テ各道府縣ニ對シ割當了了シ目
下夫々貸付手續中ナリ

六

米穀法第三條ノ規定ニ依ル米穀ノ輸入許可ニ關スル件

從來通商航海條約ニ別段ノ定アル國ノ産米ニ付テハ許可ヲ要セズシテ輸入シ得ルコトトナリ居リタル處最近ノ米穀事情ニ鑑ミ十月十三日勅令第
二百七十一號ヲ以テ當分ノ内米穀ノ輸入ハ總テ米穀法第三條ノ規定ニ依
ル許可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ爲スコトヲ得ザルコトトシ十月二十日ヨ

リ實行セリ

七

米穀統制法關係法規

米穀統制法施行ニ伴フ關係勅令及農林省令ハ左記ノ如ク公布セラレタリ

(一) 米穀統制法施行期日ノ件

勅令第二百七十八號 (昭和八年十月二十三日)

米穀統制法ハ昭和八年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

(二) 米穀統制法施行令

勅令第二百八十號 (昭和八年十月二十三日)

別冊

(三) 米穀其ノ他輸入税増加ノ件

勅令第二百八十三號 (昭和八年十月二十三日)

米穀統制法第九條ノ規定ニ依リ米及粳ノ輸入税ハ昭和八年十二月三十一日迄每百斤二圓トシ粟ノ輸入税ハ昭和九年三月三十一日迄每百斤一圓トス

附 則

本令ハ米穀統制法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和五年勅令第二百六號及昭和八年勅令第九十八號ハ之ヲ廢止ス

(四) 米穀統制法ノ一部ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件

勅令第二百七十九號 (昭和八年十月二十三日)

米穀統制法第七條乃至第九條及第十二條並ニ附則第三項及第四項ノ規定ハ之ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行ス

附 則

本令ハ米穀統制法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(五) 米穀統制法施行規則

農林省令第二十號 (昭和八年十月二十四日)

別 冊

(六) 米穀統制委員會官制

勅令第二百八十一號

(昭和八年十月二十三日)

第一條 米穀統制委員會ハ農林大臣ノ監督ニ屬シ其ノ諮問ニ應ジテ米穀統制法施行ニ關スル重要事項ヲ調査審議ス

第二條 委員會ハ會長一人委員二十五人以内ヲ以テ之ヲ組織ス

特別ノ事項ヲ調査審議スル爲必要アルトキハ臨時委員ヲ置クコトヲ得

第三條 會長ハ農林大臣ヲ以テ之ニ充ツ

委員及臨時委員ハ農林大臣ノ奏請ニ依リ關係各廳高等官及學識經驗アル者ノ中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ズ

第四條 會長ハ會務ヲ總理ス

會長事故アルトキハ農林大臣ノ指名スル委員其ノ職務ヲ代理ス

第五條 委員會ニ幹事ヲ置ク農林大臣ノ奏請ニヨリ關係各廳高等官ノ中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ズ

幹事ハ會長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理ス

第六條 委員會ニ書記ヲ置ク農林省判任官ノ中ヨリ農林大臣之ヲ命ズ

書記ハ上司ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(七) 米穀委員會官制廢止ノ件

勅令第二百八十一號

米穀委員會官制ハ之ヲ廢止ス

附 則

本令ハ米穀法廢止ノ日ヨリ之ヲ施行ス

ハ

米穀統制法施行ニ伴フ官制改正ノ件

(一) 農林省官制中改正ノ件

(一) 米穀統制法施行準備ノ爲米穀事務所設置ニ要スル職員ヲ農林省官制中改正ニ依リ事務官二人、技師七人、屬十一人、技手十六人増置シ十月一日ヨリ施行セラレタリ

(二) 米穀統制法ノ昭和八年十一月一日ヨリ施行セラルルニ伴ヒ農林省官制中改正ヲ行ヒ昭和八年十一月一日ヨリ施行スルノ豫定ナリ

(二) 臨時農林省ニ米穀部ヲ設置スルノ件中改正ノ件

米穀統制法ノ昭和八年十一月一日ヨリ施行セラルルニ伴ヒ臨時農林省

ニ米穀部ヲ設置スルノ件中ノ改正ヲ行ヒ昭和八年十一月一日ヨリ施行
スルノ豫定ナリ

九

内地米ノ買換ノ件

第四十二回米穀委員會ニ於テ議解ヲ得タル政府所有内地古米百萬石
以内ノ買換ハ本年五月約五十萬石、十月約三十五萬石ニ付之ヲ行ヒ
タル結果通計八四〇〇石四石ヲ賣却シ八〇〇石一四石ニヲ買入レタリ
今各回ニ付其ノ賣却及買入ノ概況ヲ述ブレバ左ノ如シ

五十萬石ノ買換

(一)内地古米約五十萬石ノ買却

右約五十萬石ノ内二六石三一石一石ハ四月一日ヨリ五月十六日迄ノ間
ニ於テ北海道其ノ他ノ災害地等ニ對シ隨意契約ニ依リ賣却シタルヲ
以テ本買換ニ於テ一般ニ入札ノ形式ニ依リ賣却スベキ數量ハ約二十

四萬石ト決定シ右數量ニ付五月二十六日東京、大阪、神戸、^{酒田}門司及名古屋ニ於テ入札ニ依ル賣却實施ノ結果二三萬五、五、八^石ノ賣却ヲ決定シ前記賣却ノ分ト併セ四萬六、八、六^石ノ賣却ヲ了シタリ

(二) 七年産内地米約五十萬石ノ買入

前記四萬六、八、六^石ノ身代米ノ買入ハ昭和七年産米ニ付五月三十一日東京外五事務所ニ於テ入札ニ依リ買入實施ノ結果四萬六、八、七〇石ノ買入ヲ爲シタリ

三十五萬石ノ買換

(一) 内地古米約三十五萬石ノ賣却

右約三十五萬石ノ内地古米二十七萬石、^{二、六、四、一、七、三、六、一}ハ八月一日ヨ

リ九月十二日迄ノ間ニ於テ災害地等ニ對シ隨意契約ニ依リ賣却シタルヲ以テ本賣換ニ於テ一般ニ入札ノ形式ニ依リ賣却スベキ數量ハ八〇〇〇石ト決定シ右數量ニ付九月二十日東京及大阪ニ於テ賣却實施ノ結果豫定數量全部ノ賣却ヲ決定シ前記隨意契約ニ依ル賣却ノ分ト併セ三、三、四、一、七、三、六^石ノ賣却ヲ了シタリ

(二) 八年産内地米約三十五萬石ノ買入

前記三、三、四、一、七、三、六^石ノ身代米ノ買入ハ昭和八年産ニ付十月三日ヨリ五日迄札幌、仙臺、酒田、新潟及金澤ニ於テ入札ニ依リ買入實施ノ結果三〇、六、二、七、三^石ノ買入ヲ爲シ目下受渡中ニ屬ス

政府所有粳米ノ賣却

昭和八年四月一日現在ノ政府所有粳米ノ數量ハ玄米四四六二一六石、粳米〇〇六一石ナリシ處右ノ處分ニ付テハ第四十三回奉議委員會ノ議ニ基キ昭和八年五月ヨリ九月迄ノ間ニ於テ月別平均的ニ六回ニ亙リ入札ノ形式ヲ以テ賣却ヲ實施シ合計玄米三九七九九六石、粳米一三三三石ヲ賣却セル外玄米三二二〇石ハ陸軍省等ニ對シ賣却シ尚玄米二萬石、粳一四六二八石ニ付テハ海軍ノ上白米トシテ賣却ノ結果現在右白米一七〇石ノ所有ナルノミニテ所有粳米ノ大部分ハ之レガ處分ヲ了セリ而シテ右白米一七〇石ニ付テハ本月中ニ處分ノ額定ナリ今朝議ニ於テ六回ニ亙リ賣却セル賣却ノ各回別賣却數量ヲ示セバ左ノ如シ

回次	賣却時期	種別	賣却豫定數量	賣却數量
一	一次入札 五月二七日	一次入札	七五〇〇〇	四九五五五
		二次入札	七五〇〇〇	二四二四二
二	一次入札 六月二日	一次入札	七五〇〇〇	七三七八八
		二次入札	七五〇〇〇	計
三	一次入札 六月七日	一次入札	五〇〇〇〇	一次入札 玄米一〇一八五
		二次入札	一五四三三	一次入札 玄米三、六〇六
四	一次入札 六月十二日	一次入札	七五〇〇〇	一次入札 玄米四、七九二
		二次入札	七五〇〇〇	二次入札 玄米三、六〇六
五	一次入札 六月十七日	一次入札	七五〇〇〇	計
		二次入札	七五〇〇〇	計
六	一次入札 六月二十二日	一次入札	九一二三四	一次入札 玄米四、七九二
		二次入札	九一二三四	二次入札 玄米三、六〇六

月別	輸入地別											
	昭和七年十一月	十二月	昭和八年一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月
内地	二五	三六	一〇	四	八	七	二	六	九			
朝鮮	八二	〇	二八	三八	五七	一	九	六	〇	五		
臺灣	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
樺太	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇

土

米穀輸入許可數量

計

玄米
粳

三九七九六〇
一五四三三〇

昭和八年八月	三 四	一	〇	〇
九月	一 六 五 二	報告未着	〇	〇
十月	(廿三日迄) 七 三 四 四 五	報告未着	〇	〇
計	七 三 二 一 五	六 六 八	〇	〇

備考

一 九月分一六三二石中一八九〇石ハ露領ニ於ケル邦人漁業従業員食料ノ残存米穀ノ再輸入許可数量ナリ

二 十月分一四四三石中七一三六六石ハ勅令第二七一號實施ニ伴ヒ右勅令公布前産地輸出ヲ出帆シタルモノハ經過的ニ已ムヲ待ザルモノトシテ輸入ヲ許可シタル量ニ米ナリ

十二

米穀輸出許可数量

月別	輸出地別	内地	朝鮮	臺灣	樺太
昭和七年十一月	十二月	三 〇 六 九	三 九 五 九 九	五 七 九 六	〇
昭和八年一月	十二月	四 七 六 九	八 九 六 五	一 三 三 二 九	〇
二月	一月	八 五 二	一 二 一 七	一 六 八 〇	〇
三月	二月	二 五 一	六 七 七 〇	〇	〇
四月	三月	一 〇 八 一	三 〇 九 九	三 三 二 〇	〇
五月	四月	一 四 一 〇 〇	三 六 五 四	二 一	〇
六月	五月	二 〇 四 八	四 〇 四 二	〇	〇
七月	六月	二 三 四 四	五 〇 三 〇	〇	〇
七月	七月	一 六 五 四	二 三 六 六 二	〇	〇

	昭和八年八月	一六九二	二五五一六	〇
	九月	一六一七 (廿三日迄)	報告未着	六七六二
	十月	七二八	報告未着	報告未着
計		三四二〇五	二九三〇八	〇

備考

四月分一四一〇〇石中一三、六五、六石ハ日魯漁業株式會社ガ露領ニ於ケル邦人漁業従業員ノ食料トシテ輸出シタルモノナリ

十三

内地ニ於ケル米穀輸出入高詞 (單位石)

年	輸入		輸出	
	朝鮮ヨリ	台湾ヨリ	朝鮮へ	台湾へ
十一月	七三、五三	七四、一五二	六、二五九	三、四九九
十二月	九、六一三	三、六七三	七、〇六五	九、九〇
八月	八一、六七四	七、四七〇	二、八四四	四、〇六
一月	九三、〇八〇	三、五八五	三、一六三	六、三一
二月	七九、三五六	五、八四一	三、二五六	五、三二
三月	八二、一三九	六、三三〇	二、一八九	六、七一
四月	七四、五三九	七、二八九	二、八八七	六、四六
五月	七一、六五四	七、二八九	三、一八九	三、三八
六月	七一、四六七	六、八七三	二、八八七	一、九三九
七月	七一、四六七	五、一九〇	二、八八七	二、八三六

十五

米穀現在高調査

産地別	調査期日			
	五月一日	七月一日	八月一日	九月一日
内地米	三四八九二二三石	二六三四二八五石	二二〇一八一九石	一五九九九三二石
朝鮮米	八〇七一一四五	七九六八五四	七三二五四三	五五〇六三八
臺灣米	三七四五一〇	二八三五五九	四三二三七三	五四二四一九
外國米	五八二三五	五二三八九	四三〇九一	四三三三一
計	三六一三三二〇三	二七四七七六六〇	二二二三九二六	一七一三三九一〇
前年同期ニ比シ増	三二五二一二八	三六八二二九八	三七三六〇三五	一九七九八〇八

備考

本調査ハ昭和七年十月五日農林省令第二十九號ニ基キ地方廳ニ於テ

比前年度ニ	十一月以					
	十月	九月	八月	七月	六月	五月
(付) 三〇一八	(上旬迄) 一三一二	四〇三一	三三三二	二六五七	三三六八	
(付) 一〇六三〇五	未詳	四二七七	四〇六八	三三八九	〇	
(付) 五三三〇三八	(上旬迄) 二九八	三二二六〇	六八三三八	八六一六〇	一〇三三九二	
一	(上旬迄) 三〇一	一四七二	一七二七五	一八七九	一六七八	
一	(上旬迄) 一七五一	一八一五	四三〇	三五四	一四一七	

十七

政府所有内地米現在高

昭和八年十月二十二日現在

所管	内地		内地白米	
	六年產米	七年產米	八年產米	計
東京	三三六、一七九、二	三三三、六六八、〇	六六、一八四、七二	六六、六六九、三二
大阪	二二、九二八、八	四一、二二九、二	一四、三四七、六	六四、七〇七、六
酒田	二六、一四八、〇	二〇、七五四、四	二、五九三、三	二、三三三、四
門司	二二、二二六、六	二二、六八四、八	二、九〇六、八	二、四九〇、六
新潟	三〇、〇〇〇、〇	九、七六一、四	九、三三四、四	一、九三五、四
名古屋	一八、九六六、六	一七、〇七三、三	一、八九九、五	一、八九六、九
小倉	〇	〇	六、五四〇、八	六、五四〇、八
佐賀	〇	二、七七七、六	三、一三三、六	二、五九〇、七
金澤	〇	一、五八一、八	二、二〇八、四	二、五九〇、七
神戶	一八、六四九、八	一、九八〇、三	三、八四三、三	一、三六六、七
岡山	二、六三六、六	一、八六一、二	〇	二、五八七、八
熊本	〇	一、一四六、八	〇	一、一四六、八
計	八一三、二〇六、六	一七、一三六、六	三〇、六二七、三	二、八三三、二

種別	輸		九月一日現在高	差引消費額 一人當	人口
	出額	移出額			
本年度	輸出額	移出額	一、七一二、五九一、〇	總額 六、二七四、七六四、一	六、六一二、〇〇〇、人
	再輸移出額	移出額	五、一五〇、六七	〇、九四九	
前年度	輸出額	移出額	一、五一一、四六一、〇	五、八二二、七一一、〇	六、五四一、九〇〇、人
	再輸移出額	移出額	六、三四七、八一	〇、八八九〇	

備考

一 賣却契約済ノモノハ本表ニ計上セズ

二 八年産米受渡期限ハ十月三十一日ニシテ受入數量ハ買入決定數量ニ

對シテ多少ノ増減アルベキモ今茲ニハ便宜買入決定數量ヲ其儘受入

ルルモノトシテ

十八

政府所有朝鮮米現在高

昭和八年十月二十二日現在

白米	種別	計	備考
	内地所在 東京		
	一七〇〇石	一七〇〇石	

備考

賣却契約済ノモノハ本表ニ計上セズ

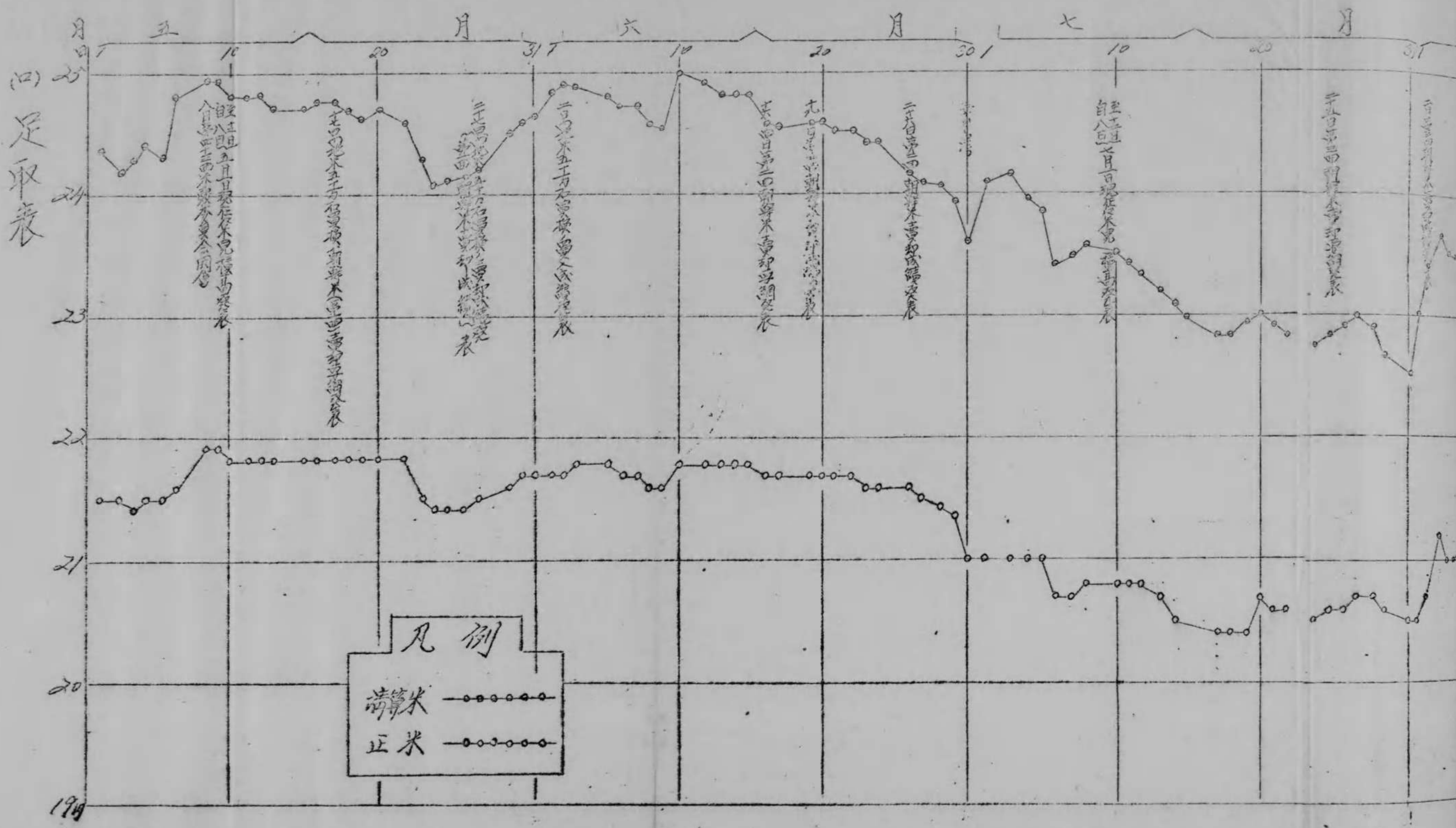
十九米價

（東京、大阪、京都、相場、清算米、東京、清算米、先相場）

日	正米	清算米	正米	清算米	正米	清算米	正米	清算米	正米	清算米
一日	二一五〇	二四三六	二一七〇	二四八四	二一〇〇	二四一四	二〇五〇	二三五〇	二〇五〇	二三五〇
二日	二一五〇	二四三六	二一七〇	二四八四	二一〇〇	二四一四	二〇五〇	二三五〇	二〇五〇	二三五〇
三日	二一四〇	二四三一	二一八〇	二四八八	二一〇〇	二四二〇	二〇五〇	二三五〇	二〇五〇	二三五〇
四日	二一五〇	二四四一	日曜	日曜	二一〇〇	二四二〇	二〇五〇	二三五〇	二〇五〇	二三五〇
五日	二一五〇	二四三三	二一八〇	二四八一	二一〇〇	二四二〇	二〇五〇	二三五〇	二〇五〇	二三五〇
六日	二一六〇	二四八一	二一七〇	二四七四	二〇七〇	二四三九	日曜	日曜	二〇四〇	二四三九
七日	日曜	日曜	二一七〇	二四七四	二〇七〇	二四三九	日曜	日曜	二〇四〇	二四三九
八日	二一九〇	二四九三	二一六〇	二四九三	二〇八〇	二四八二	二〇二〇	二三五八	二〇四〇	二四八二
九日	二一九〇	二四九三	二一六〇	二四九三	二〇八〇	二四八二	二〇二〇	二三五八	二〇四〇	二四八二
十日	二一九〇	二四八一	二一八〇	二四九三	二〇八〇	二四八二	二〇二〇	二三五八	二〇四〇	二四八二
十一日	二一九〇	二四七九	日曜	日曜	二〇八〇	二四八二	二〇二〇	二三五八	二〇四〇	二四八二

十二日	二一八〇	二四八三	二一八〇	二四八九	二〇八〇	二三三三	二一〇〇	二三六九	二〇五〇	二三七二	二〇八〇	二三八八	
十三日	二一八〇	二四七四	二一八〇	二四七九	二〇七〇	二三二一	日曜	二〇七〇	二三九二	二〇七〇	二三九二	二〇八〇	二三九二
十四日	日曜	—	二一八〇	二四七九	二〇五〇	二三〇九	二一〇〇	二三六六	二一〇〇	二三六六	二〇八〇	二三八四	
十五日	二一八〇	二四七五	二一八〇	二四七八	二〇九九	二三七六	日曜	二〇九九	二三七六	二〇九九	二三七六	二〇八〇	二三八四
十六日	二一八〇	二四七八	二一七〇	二四七九	二〇九九	二三三七	—	二〇九九	二三三七	二〇九九	二三三七	二〇八〇	二三八四
十七日	二一八〇	二四七七	二一七〇	二四七五	二〇九〇	二三三八	日曜	二〇九〇	二三三八	二〇九〇	二三三八	二〇八〇	二三八四
十八日	二一八〇	二四七八	日曜	—	二〇九〇	二三三八	二〇九〇	二三三八	二〇九〇	二三三八	二〇八〇	二三八四	
十九日	二一八〇	二四六九	二一七〇	二四五九	二〇九〇	二三三八	二〇九〇	二三三八	二〇九〇	二三三八	二〇八〇	二三八四	
二十日	二一八〇	二四七〇	二一七〇	二四五九	二〇九〇	二三三八	日曜	二〇九〇	二三三八	二〇九〇	二三三八	二〇八〇	二三八四
二十一日	日曜	—	二一七〇	二四五二	二〇九〇	二三三八	二〇九〇	二三三八	二〇九〇	二三三八	二〇八〇	二三八四	
二十二日	二一八〇	二四六二	二一七〇	二四四九	二〇九〇	二三三八	二〇九〇	二三三八	二〇九〇	二三三八	二〇八〇	二三八四	
二十三日	二一五〇	二四三〇	二一六〇	二四四二	日曜	—	二〇九〇	二三三八	二〇九〇	二三三八	二〇八〇	二三八四	
二十四日	二一四〇	二四二二	二一六〇	二四四〇	二〇五〇	二三三九	—	二〇五〇	二三三九	二〇五〇	二三三九	二〇八〇	二三八四
二十五日	二一四〇	二四二六	日曜	—	二〇六〇	二三三八	二〇六〇	二三三八	二〇六〇	二三三八	二〇八〇	二三八四	

二十日	二一四〇	二四二二	二一六〇	二四四〇	二〇五〇	二三三九	—	二〇五〇	二三三九	二〇五〇	二三三九	二〇八〇	二三八四
二十一日	二一五〇	二四三〇	二一六〇	二四四二	日曜	—	二〇五〇	二三三九	二〇五〇	二三三九	二〇八〇	二三八四	
二十二日	二一五〇	二四三〇	二一六〇	二四四二	日曜	—	二〇五〇	二三三九	二〇五〇	二三三九	二〇八〇	二三八四	
二十三日	二一六〇	二四三八	二一七〇	二四四九	二〇六〇	二三三八	—	二〇六〇	二三三八	二〇六〇	二三三八	二〇八〇	二三八四
二十四日	二一七〇	二四四二	二一八〇	二四五〇	二〇六〇	二三三八	—	二〇六〇	二三三八	二〇六〇	二三三八	二〇八〇	二三八四
二十五日	二一七〇	二四四二	日曜	—	二〇六〇	二三三八	—	二〇六〇	二三三八	二〇六〇	二三三八	二〇八〇	二三八四
二十六日	二一七〇	二四四二	日曜	—	二〇六〇	二三三八	—	二〇六〇	二三三八	二〇六〇	二三三八	二〇八〇	二三八四
二十七日	二一八〇	二四五一	二一八〇	二四五〇	二〇六〇	二三三八	—	二〇六〇	二三三八	二〇六〇	二三三八	二〇八〇	二三八四
二十八日	二一八〇	二四五一	二一八〇	二四五〇	二〇六〇	二三三八	—	二〇六〇	二三三八	二〇六〇	二三三八	二〇八〇	二三八四
二十九日	二一八〇	二四五一	二一八〇	二四五〇	二〇六〇	二三三八	—	二〇六〇	二三三八	二〇六〇	二三三八	二〇八〇	二三八四
三十日	二一八〇	二四五一	二一八〇	二四五〇	二〇六〇	二三三八	—	二〇六〇	二三三八	二〇六〇	二三三八	二〇八〇	二三八四
三十一日	二一八〇	二四五一	二一八〇	二四五〇	二〇六〇	二三三八	—	二〇六〇	二三三八	二〇六〇	二三三八	二〇八〇	二三八四
月平均	二一六〇	二四五六	二一六〇	二四五〇	二〇六〇	二三三八	—	二〇六〇	二三三八	二〇六〇	二三三八	二〇八〇	二三八四



五月八日... 合算...

五月二十日... 合算...

五月三十日... 合算...

六月十日... 合算...

六月二十日... 合算...

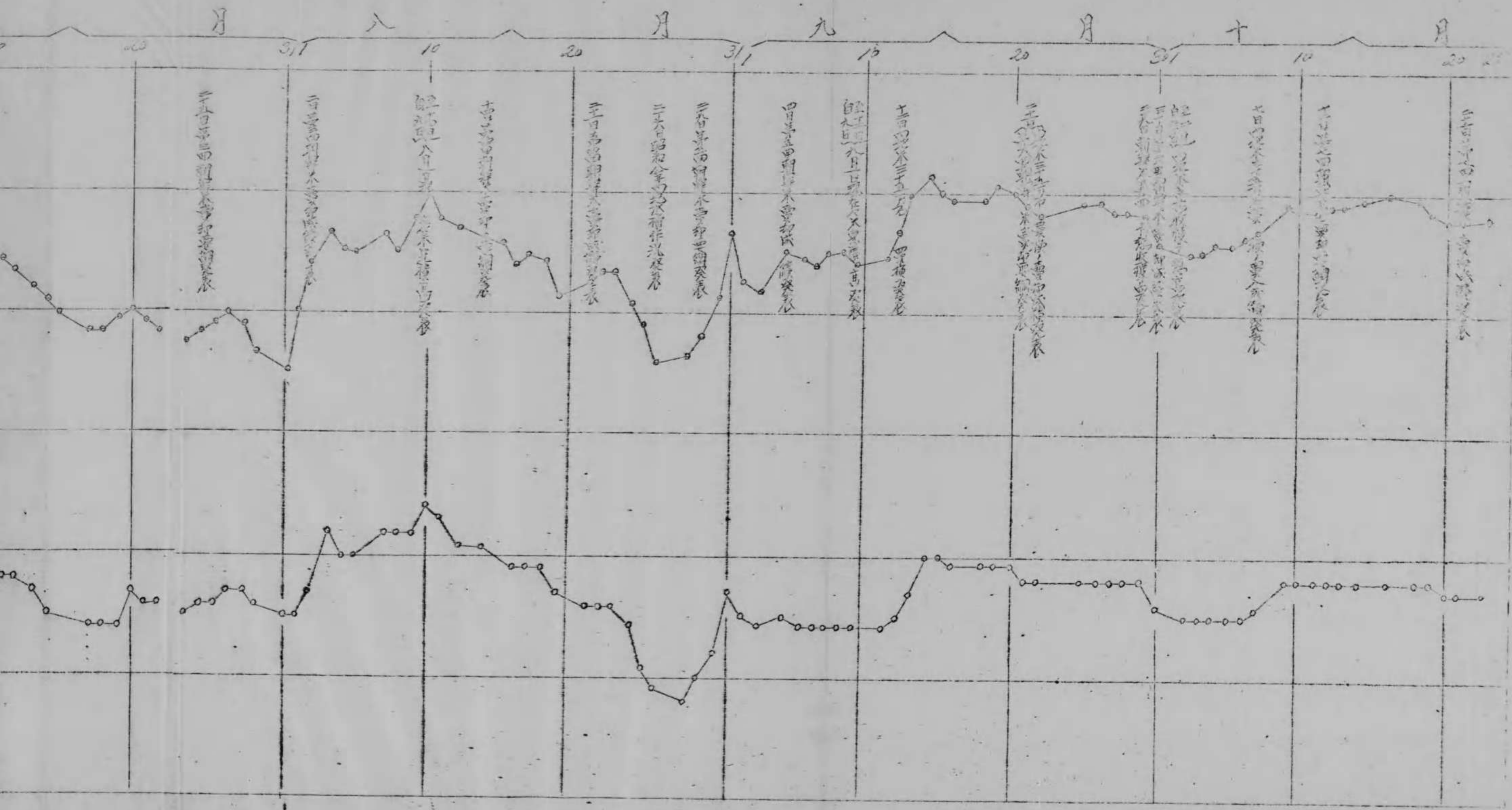
六月三十日... 合算...

七月十日... 合算...

七月二十日... 合算...

七月三十日... 合算...

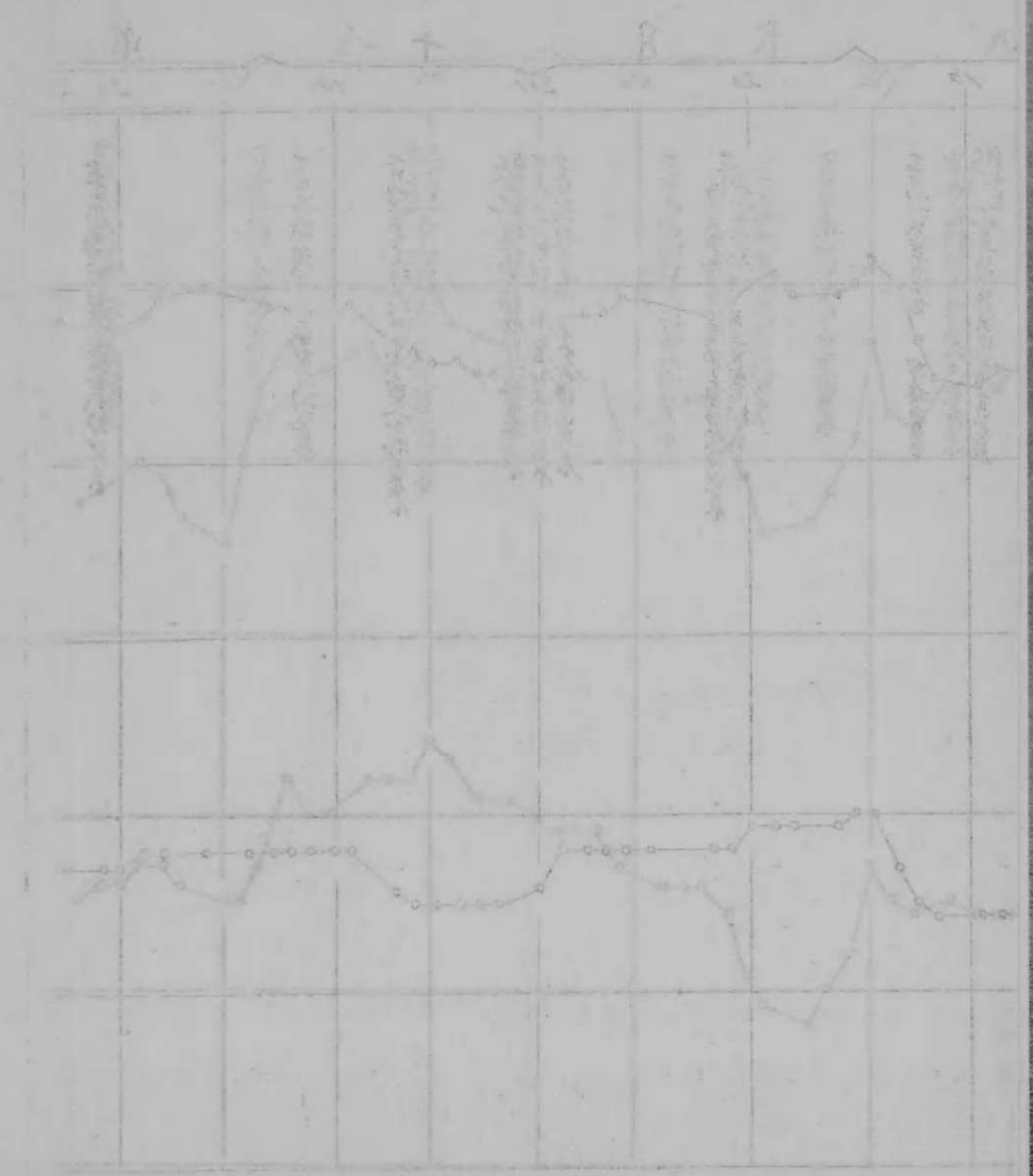
八月十日... 合算...



三十 外國米產地相場（產地沖渡値段）百斤當

(1) 實 數

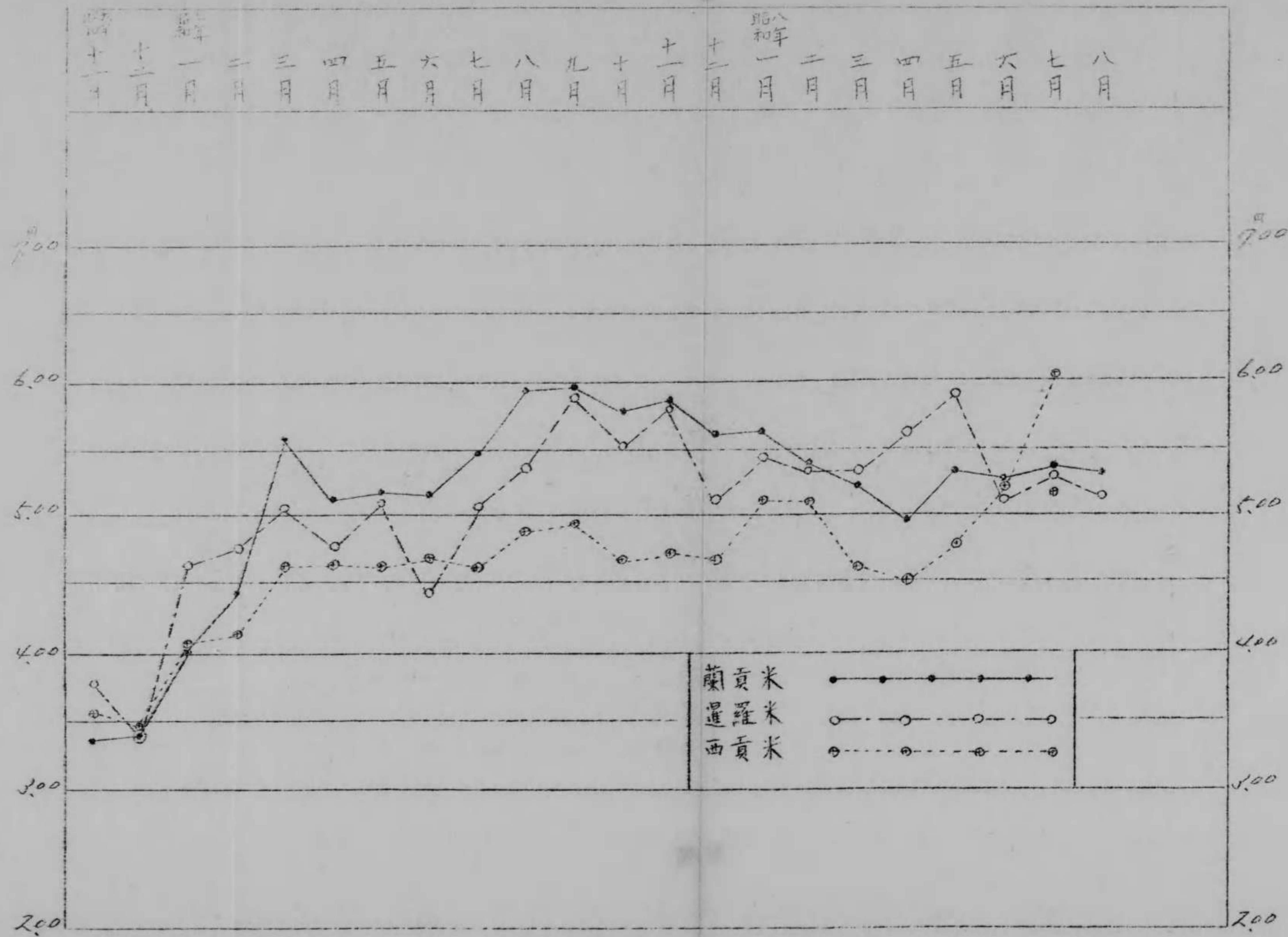
月 別		蘭貢白米特等		羅暹白米一等		西貢白米丸粒一等	
昭和六年十一月	十二月	昭和七年一月	二月	三月	四月	五月	六月
三三六	三三七	四〇一	四四五	四五六	五一九	五一六	
三七六	三三七	四六八	四七六	五〇六	四七三	四四六	
三五七	三四八	四〇五	四一九	四六七	四六八	四七〇	



昭和八年

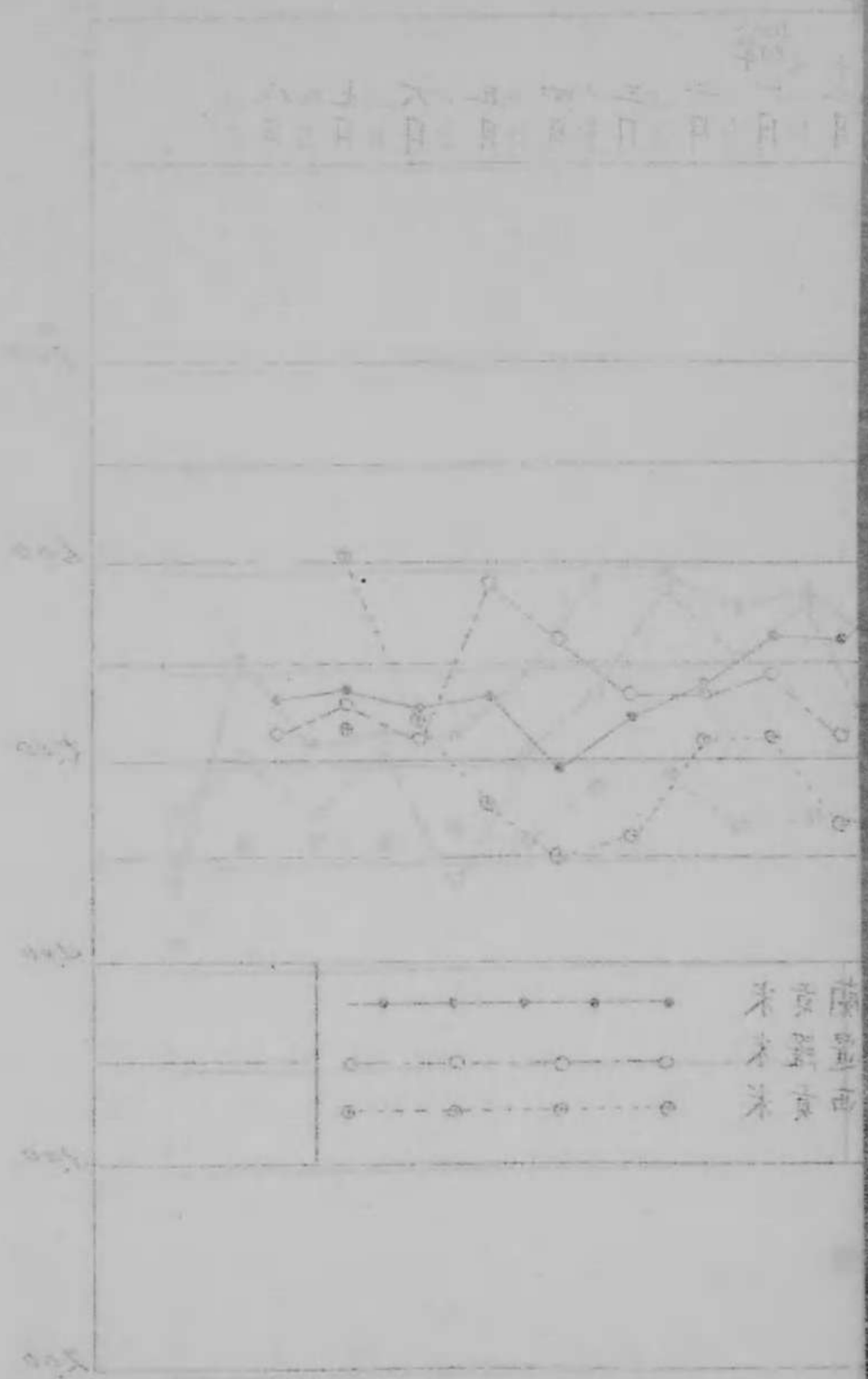
八月	七月	六月	五月	四月	三月	二月	一月	十二月	十一月	十月	九月	八月	七月
五二八	五三四	五二五	五二九	四九九	五二〇	五四一	五六五	五六四	五八三	五七二	五九七	五九三	五四九
五一六	五二七	五〇五	五八八	五六一	五三三	五三五	五四八	五一〇	五七八	五五一	五九〇	五三九	五〇四
六〇二	五二一	四七七	四五〇	四五六	四〇九	五〇九	五〇八	四六八	四七二	四六九	四九三	四八九	四六二

備考
本表ハ領事ノ報告ニ依ル



四) 外國米產地相場足取表

田圃米作 稲作 米



二十一 稲作 柄

(一) 内地米 (九月二十日現在)

本年ノ米作付段別ハ三百二十一万百町三段ニシテ之ヲ前年作付段別ニ比スレバ四万五千三百七十八町〇段(一分四厘)ヲ減少セリ

右ハ主トシテ用水不足ノ爲ノ作付不能、轉作、耕地ノ潰廢、調査方法改正ノ結果等ニ因ルモノノ如シ

而シテ九月二十日現在ニ於ケル豫想收穫高ハ六千五百六十七万五千六百八十石ニシテ之ヲ前年收穫高ニ比スレバ五百三十万九千二百九十六石(八分八厘)、前五箇年平均收穫高ニ比スレバ五百二十一万四千八百四十九石(八分六厘)ノ増加ヲ示セリ

蓋シ本年ノ稻作ハ苗代時期ニ於ケル天候概シテ順調ナリシヲ以テ苗ノ生育良好ニ進ミ移植後ハ氣温高ク旱天持續セル爲一部地方ニ於テ旱害アリタルモ其ノ他ノ地方ニ於テハ稻ノ生育促進セラレ分蘗、伸長共ニ良好ニシテ八月十五日現在ニ於ケル全國的ノ作況ハ「稍良」ノ狀況ニアリタリ其ノ後ニ於ケル氣候モ概シテ適順ニシテ開花結實良好ナリシヲ以テ作付段別ノ減少シタルニモ拘ラズ前記ノ如キ收穫ヲ見ルベキ豫想ナリ

尚参考ノ爲最近五箇年間ニ於ケル作付段別及收穫高ヲ掲グレバ左ノ如シ

年次	町段		石	
	作付段別	收穫高	作付段別	收穫高
昭和三年	三一九、七三六	六〇、三〇八	六〇、三〇八	九
〃 四年	三二一、六〇四	五九、五七六	五九、五七六	九
〃 五年	三二三、九三二	六六、八七五	六六、八七五	三
〃 六年	三二四、八七一	五五、二一五	五五、二一五	三
〃 七年	三二五、七〇〇	六〇、三九〇	六〇、三九〇	九
自昭和三年至昭和七年五ヶ年平均	三二二、四七六	六四、四六八	六四、四六八	三
〃 八年	三二一、一〇〇	六五、六七五	六五、六七五	八
九月二十日現在豫想收穫高	三二一、一〇〇	六八、〇〇〇	六八、〇〇〇	〇

(備考) 前年作付段別ニ於テ農ニ發表シタルモノト相違アルハ今同訂正報告アリタルニ由ル

(二) 朝鮮米 (九月二十三日現在)

本年ノ稻作付段別ハ百六十九萬七千五百六十五町七段ニシテ之ヲ前年
作付段別ニ比スレバ五萬四千百十六町七段(三分三厘)ヲ増加セリ
而シテ九月二十三日現在ニ於ケル豫想收穫高ハ千八百二十五萬四千八
百九十八石ニシテ之ヲ前年實收高ニ比スレバ百九十萬九千七十三石(一
割一分七厘)、前五箇年平均實收高ニ比スレバ二百五十三萬二千三百
四石(一割六分一厘)ノ増加ヲ示セリ

蓋シ本年、稻作ハ播種後氣温ノ上昇速カナリシヲ以テ苗ノ生育ヲ促進シ
六月上旬以降數回ニ亘リ全鮮ニ潤雨アリタルヲ以テ例年ニ比シ早期ノ

植付行ハレ七月十日ニハ殆ド全番面積ニ植付ヲ完了スルニ至レリ然ル
 ニ七月以降九月ニ^豆主トシテ^南釜鮮地方ニ稀有ノ風水害頻發シ局部的
 ニ^豆甚ナル被害ヲ蒙リ加フルニ一般ニ氣温低下ヲ見タル等一時作柄憂
 慮セラレタルモ九月中旬以後ハ秋日和良好トナリシタメ作況好轉シ生
 育期間ヲ通ジ病蟲害ノ被害亦少ク作柄概シテ良好ニシテ前記ノ如キ收
 穫ヲ見ルベキ豫想ナリ

尙参考ノ爲最近五箇年間に於ケル作付段別及收穫高ヲ掲グレバ左ノ如
 シ

年	作付反別	收穫高
昭和三年	一五七五七五 ^町	一三五一一七二 ^石
四年	一六三三〇六 ^町	一三七〇一七四 ^石
五年	一六六三〇二 ^町	一六一八四六 ^石
六年	一六七四六 ^町	一四八七 ^石
七年	一六四三 ^町	一六三 ^石
以上五箇 年平均	一六二五 ^町	一四七 ^石

昭和八年

一六九^町

九月廿三日
 現在豫想收一八二^町八^石

(三) 臺灣米

(A) 第一期作

昭和八年第一期作付段別ハ二十九萬五千三百二十一甲七二(一甲ハ内地ノ一町步弱)ニシテ之ヲ前年同期作付段別ニ比スレバ三千百七十七甲四三(一分一厘)ヲ増加セリ

而シテ本期實收高ハ三百九十三萬八千七百三十石ニシテ分蘖期及穗孕期ニ於ケル旱魃ニ依リ前年同期ニ比スレバ二十八萬二千七百十七石(六分七厘)ヲ減ジタルモ前五箇年平均實收高ニ比スレバ四十六萬二千三百三十三石(一割九厘)ノ増加ヲ示セリ

尙參考ノ爲最近五ヶ年間ニ於ケル作付段別及收穫高ヲ掲グレバ左ノ如シ

	作付段別	收穫高
昭和三年	二六九五三 ^甲 四五	三一九六九一一石
四年	二四〇一〇七三四	二八五二五四七
五年	二七五三一七四九	三四八二六三七
六年	二八二八六〇九一	三六二八四四五
七年	二九二一四四二九	四二二一四四七
以上五ヶ年平均	二七一九九二三〇	三四七六三九七
昭和八年	二九五三二一七二	三九三八七三〇

(四) 第二期作

昭和八年第二期作作付段別ハ四十萬九百八十五甲二六ニシテ之ヲ前年
 同期ニ比スレバ八千二百一甲四二(二分一厘)ヲ増加セリ
 作^柄行ハ全島ヲ通ジ今後ノ氣象狀態ニ於テ大ナル變調ヲ來サザル限り平
 年作見當ナリト豫想セラル

(四) 外國米

蘭貢米 降雨適量日照調順ニシテ本年ノ作柄ハ平年以上ノ豫想

ナリ

西貢米 天候順調ニシテ作柄ハ前年ヨリ良好ナリ

支那米 作柄良好ナリ

滿洲米 前年ニ比シ二割五分ノ增收ヲ豫想セラレ

二十二

麥ノ收穫高

北海道ヲ除ク四十六府縣ニ於ケル昭和八年麥收穫高ハ左ノ如シ

△印ハ減ヲ示ス

	昭和八年	前年ニ比シ	前五ヶ年平均ニ比シ
大麥	六八八八九〇石	△六六三二七石 (八分八厘)	△四三〇四九九石 (五分九厘)
裸麥	三一九四六五四	△二八〇一五五 (七分八厘)	△三三八四三七 (七分五厘)
小麥	七七八六二四五	△三八五〇四九 (三割一分六厘)	△五五八九三六 (二割五分)

備考

北海道ノ分ハ追テ發表セララルル筈ナリ

米穀委員會報告事項